

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス unico南ヶ丘		公表日		2025年 4月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		部屋数があり、状況に応じて選べるようになっています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		十分な広さと段差が少ない構造でバリアフリーを配慮しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動内容によってはスペースに不十分さはありますが、地域の施設を活用する等の工夫をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々を振り返る時間を作ったり、毎月職員全員参加で運営や支援について目標や振り返りの会議をおこなっています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の朝礼、毎月職員全員参加の会議を開催して意見交換がしやすい環境設定をおこなっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者委員会の設置はありませんが、定期的に本社の内部調査をおこなって評価していただき、業務改善へ努めています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、各研修をおこなっています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月ワークショップを設定し、利用者様や保護者様へ案内しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の振り返りや毎月の支援情報交換、ケース会議等で共有、検討しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者様と自事業所だけでなく学校や家庭、他事業所での情報共有ができやすいコミュニケーションを日々心がけています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月ワークショップ立案会議をおこなっています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者様のリクエストや経験の機会等を考慮して立案をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日おこなえなかった際は翌日に必ず振り返りをおこなう時間を設けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、職員も参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		主治医には保護者を通じて情報を共有いただいたり、学校や他事業所等はご本人やご家族様の意向に沿って担当者会議や送迎時などに適宜おこなえるように努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		ご本人や保護者様の意向に沿って適宜おこなえるよう体制を整えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		ご本人とご家族様の意向に沿って適宜おこなっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童クラブや児童館に出向き交流の機会ははかっていますが、地域の公園や公共施設などの場所を共有して使用する機会を設けています。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳を活用したり、意向に沿って保護者様との面談の機会を設けたりしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご本人とご家族の意向に沿って適宜おこなっています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		今後、ご家族様のご希望に沿って交流機会の開催実施に努めていきたいと思ひます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		コロナ禍よりイベント等を控えており再開できておりませんが、今後安全に開催できるように立案、実施に努めていきたいと思ひます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		それぞれの訓練研修を必ずおこなっています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現在、対象児童の利用がないためおこなっておりませんが、必要な際は適宜おこなっていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

51 52 53 54	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス unico南ヶ丘			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日		～	2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	26名
○従業員評価実施期間	2025年 2月 12日		～	2025年 2月 28日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月ワークショッププログラムを立案して多様な経験の機会を選択肢として提供	・お子様たちの「やってみたい」「できる」気持ちを大切に立案の内容を工夫し、様々な経験の選択ができるようにしております ・お子様の状態に合わせて、集団活動か個別活動を選択できる機会を提供しております ・活動の経験を通して、自信に繋がるフィードバックや気持ちのシェアを大切にしております	・お子様たちが主体的に活動ができる機会の充実化を図っております ・地域社会との繋がりを感じられる活動の機会提供を検討してまいります ・職員研修などを通じて専門的な視点でお子様たちの育つ力を伸ばせるように努めてまいります
2	状況に応じて、過ごす場所や過ごし方が選べる環境の設定	・部屋数が全部で6つあり、気持ちの状態や活動に応じて過ごす場所を自分で選択していただけます ・部屋ごとに区切りやドアがありますが、必ず職員が見守れる設計になっております	・どの場所を選択しても安全に過ごせる環境作りに努めてまいります ・活動の内容に応じて適した場所の選択が主体的にできるような関わりを今以上に丁寧におこなってまいります
3	安心してありのままにいられる居場所作り	・職員がお子様の気持ちに寄り添う姿勢を大切に支援しております ・毎日、職員同士でお子様の様子を共有し合える雰囲気作りや支援の振り返りの時間を設けております ・必要に応じてメールや連絡帳、電話等で保護者様との連携を大切にしております	・支援の振り返りを次回以降の支援へ生かせるように支援の質の向上に努めてまいります ・保護者様との連携手段や頻度を増やしてより良い支援や安心を感じていただけるように努めてまいります

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様へ非常災害発生に備えた訓練等の共有や対応、連携の工夫	避難訓練等の開催について確実に実施をしておりますが、事業所内だけの共有になっていたため、今後は保護者様へ開催日時や内容、お子様の様子等について丁寧に共有をおこなっていく必要があると考えております	開催日や取り組みの計画内容について保護者様へ事前に周知をおこなうとともに、計画内容にてお子様への配慮が必要な際は配慮内容や方法などを聞き取り、安心して参加できるようにしてまいります
2	保護者の皆さまが関係機関や周囲とのつながりをより感じていただけるような支援の更なる工夫	それぞれのご家庭と、適宜面談やお電話等での相談支援をおこなっておりますが、関係機関や保護者さま同士等、周囲とのつながりを実感できるような連携、機会提供の検討が必要だと考えております	・保護者さまと相談をしながら、必要に応じて関係機関も含む会議への参加や提案をおこなってまいります ・保護者さま同士がつながりを感じられるような機会提供についても検討をおこなってまいります

3	日々の支援に対する安心感や療育効果を感じていた だけのような保護者さまとの連携	自分自身の気持ちに気付き、考え、選択していける よう、コーチングをベースにしたコミュニケーションの 実践や機会提供を日々行っておりますが、その 効果やお子さま一人ひとりの成長をより感じていた だけよう、日頃からの細やかなコミュニケーション や報告内容の質向上が必要だと考えております	・保護者さまに安心していただけるよう、より一層 細やかな情報共有や日頃のコミュニケーションに努 めてまいります ・日々の出来事に加え、どのような支援を行ったの か、どのような成長が見られているのかを具体的に お伝えできるよう、日々の振り返りで職員間の連携 強化を図ってまいります
---	--	--	---